

国際観光学科 1年 後期 専門基礎科目／専門科目

1. 地域観光資源
2. 地域観光政策論
3. 共生社会論
4. 地域観光産業論
5. サービス・マネジメント論
6. 商品企画論
7. イノベーティブ人材育成論
8. 地域開発事例研究(AT)
9. 地域開発事例研究(FT)
10. ICT & Information Literacy
11. 観光学研究 I

国際観光学科

科目名： 地域観光資源				担当教員 氏名： 米田 晶		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	後期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：						
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
富山全域の、観光資源、観光対象、観光施設、観光地理、並びに日本国内のテーマ性のある主だった地域における観光資源、施設について学ぶ。富山については、自然、文化、歴史、温泉、工業品、食等様々な分野での資源について学ぶが、特に、立山をテーマにした日本でも有数の地学的視点からの魅力について学ぶ。日本の各地域については北海道をはじめとする自然の豊富な地域や、京都・奈良などの歴史的エリア、また東京をはじめとする都市文化エリアなどからそれぞれのもつ資源の魅力やその維持、保存手法、活用などの観光戦略について学ぶ。					着地型観光、インバウンド、ユネスコ世界遺産、ジオツーリズム、エコツーリズム、産業観光、まち歩き、持続可能な観光開発	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			1, 2, 3, 4, 7, 9、			
A 知識・理解力			知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる			
C 論理的思考力			理論的枠組みを使って論理的に意見をまとめられるようになる			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる			
F チームワーク・リーダーシップ			他の人の考えを尊重し、意見をまとめられるようになる			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 30 %		レポート： 20 %		発表： 30 %		実技試験： % その他： 20 %
特記事項：						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： レポートは適時、最終評価は筆記試験で実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス：立山が生み出す食資源ダイナミクス(雪解け水、米、富山湾の海産物)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
②立山の地質とジオツーリズム(立山カルデラ砂防博物館 飯田学芸課長)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
③立山・黒部アルペンルートとエコツーリズム				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
④富山で実践されているエコツーリズム				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
⑤滑川のホタルイカを観光資源とする観光事例(ゲストスピーカー)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
⑥北前船と昆布ロード(岩瀬の街並み)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
⑦産業観光：富山の製菓業・売業とその関連産業				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
⑧観光資源の観光商品化：研究の必要性				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
⑨観光資源から地域理解へ：着地型観光による地域振興				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
⑩観光から始まる関係性構築：ワーキングホリデー制度				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
⑪持続可能な観光開発とは				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
⑫遺産観光：ユネスコ世界遺産と観光				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
⑬世界遺産登録地域の課題発見と課題に対する理解の深め方				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
⑭世界遺産登録地域の課題解決方法の検討				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習 240分		
⑮まとめ				【事前】全配付資料等の確認 【事後】授業の復習 240分		
使用テキスト：なし				その他参考文献など：		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 富山県内には観光資源がたくさんあります。これまで学修した内容を活かして、地域を見つめなおしていませんか？ 10年後、20年後、100年後も住み続けられるまちにするために何ができるのか、一緒に考えてみましょう。						

国際観光学科						
科目名： 地域観光政策論				担当教員 氏名： 山田 桂一郎		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	後期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：		スイス・ツェルマツ観光局を中心にヨーロッパ各地で実践してきたマーケティングの経験や、内閣府・国土交通省・農林水産省認定の「観光カリスマ」、および総務省「地域力創造アドバイザー」として国内のさまざまな地域でビジネスモデルを確立し、事業化を推進してきた経験を活かして講義を行う。				
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
観光振興は我が国の政策課題のひとつであり、地方自治体においても、人口減に悩む中、地域経済をけん引する観光振興策が生まれた。またインバウンドの激増や、高齢者や障害者の旅行願望の高まり等を受け、国策としての観光振興を実現するための「明日の日本を支える観光ビジョン」、「日本再興戦略2016- 第4次産業革命に向けて」、「ユニバーサルデザイン2020計画」等の国家政策や「元氣とやま創造計画-とやま新時代へ新たな挑戦」などの地域政策も発表されているがそれらの目的を理解し、その実現のための具体的実践手法について学ぶ。					地域振興、着地型観光、 デスティネーション・マネジメント	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短編マトリックスで示される番号)		1, 2, 3, 4, 5, 7, 9	
A 知識・理解力			知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。			
F チームワーク・リーダーシップ			他者と協調・協働して行動できる。また他者に方向性を示し、目標のために動員できる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 100 %		レポート： %	発表： %	実技試験： %	その他： %	
特記事項：オムニバス形式での講義です。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 期末試験で評価する予定です。詳細は、授業の際にあらためて説明します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス				【事前】教科書を通読する 【事後】授業の復習	240分	
②ヨーロッパにおける観光産業と地域経営				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
③日本における観光・地域振興の現状と課題(富山県庁・宮崎室長)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
④日本における観光・地域振興の現状と課題(富山県庁・宮崎室長)討論				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑤観光を手段とする広域連携による地域振興(株式会社インアウトバウンド仙台・松島)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑥着地型観光とガイドの役割(株式会社インアウトバウンド仙台・松島)討論				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑦日本における観光政策(観光庁)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑧日本における観光政策(観光庁)討論				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑨地域との連携と着地型観光(八尾町FW)※現地集合(原井代表)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑩富山県の地域振興に資する起業事例(八尾町FW)(原井代表)討論				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑪地域振興の核となる組織づくり(八尾町FW)(株式会社オズリンクス・原井代表)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑫観光と地域内のキャッシュフロー(八尾町FW)(株式会社オズリンクス・原井代表)討論				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑬ツーリズムによる地域振興のための体制、組織化と人材育成				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑭新型コロナウイルスの影響とこれからの観光				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑮まとめ				【事前】全配付資料等の確認 【事後】授業の復習	240分	
使用テキスト： 藻谷浩介・山田桂一郎(2016)『観光立国の正体』新潮新書 ISBN-10: 4106106922, ISBN-13: 978-4106106927				その他参考文献など： 必要に応じて資料を配布します		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 集中講義ですので、全日程出席が前提です。休まず、遅刻せず、また中途退出せず、しっかりと聴講し、じっくり考え抜いてください。						

国際観光学科

科目名: 共生社会論				担当教員 氏名: 鷹西 恒		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			講師が社会福祉士、精神保健福祉士、障害当事者として経験していることをフィードバックする			
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
共生社会の実現のためには、不平等・差別・搾取・抑圧といった構造的障壁を除去し、ジェンダー、民族、宗教、文化、障がいなどによる社会的排除を克服する必要がある。そのためにはインクルーシブで相互に理解し合う文化を築くことが必要である。授業では、そうした価値観の共有をどのように展望すればよいのかについて考えていく。					共生 インクルージョン、多様性	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			共生社会実現に必要な知識、方法について説明できる。			
C 論理的思考力			価値観の共有を通して論理的に考える力を修得する。			
D 問題解決力			正しい理解に基づいた判断をもって問題解決に至る流れを説明できる。			
G 倫理観			多様性を理解し社会に貢献できる倫理観を身につける。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: 40 %		発表: %	実技試験: %	その他: 10 %
特記事項: その他とは出席率や学習への取り組み姿勢(提出物等)、態度のことである。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポートは適時、最終評価は筆記試験で実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート等返却時のコメントによってアドバイスをを行う。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な 時間(分)	
①共生社会とは何かⅠ ～コロナ禍から考える～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
②共生社会とは何かⅡ ～アニメから考える～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
③多文化共生Ⅰ ～日本史から概観する～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
④多文化共生Ⅱ ～世界史から概観する～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑤レイシズム ～差別、排除の歴史的変遷～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑥共生への視点 ～宮崎アニメの世界観～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑦グループワークと中間まとめ				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑧アフーマティブアクション ～是正措置に見る各国の努力～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑨障がい者と呼ばれる人々 ～感動ボロノではない～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑩自立生活運動の歴史 ～差別との戦い～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑪福祉教育の挑戦 ～道徳や倫理、福祉観の醸成～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑫オリンピック・パラリンピック ～スポーツは問題解決につながるのか～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑬家事、育児、仕事、介護 ～主夫、主婦、ヤングケアラー～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑭ジェンダー論				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑮まとめ				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
使用テキスト: 文献、資料、論文などを基に作成した参考資料を毎回の講義で配布する。				その他参考文献など: 『宮崎駿再考:「未来少年コナン」から「風立ちぬ」へ』(平凡社新書) 村瀬学		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業の資料配付や課題レポート作成でGoogle classroomを使用します。						

科目名: 地域観光産業論				担当教員 氏名: 安田 亘宏		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	後期	専門基礎科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		旅行会社社員としての実務経験を活かして、観光産業および観光まちづくりについて教授する。				
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
地域の観光は、旅行者に観光サービスを提供する観光ビジネスによって支えられています。本講義は、観光サービスの視点から、観光ビジネス、旅行業、宿泊業、交通運輸業、そして観光まちづくり、ニューツーリズムなどの今日的なテーマを中心とした実践的講義です。地域における観光サービスと観光ビジネスの理論と実態、課題について理解することを目指します。またそれぞれの業界の新しい動き、具体的にはOTA、民泊、LCC、クルーズトレイン、シェアリングエコノミー等についてもその現状と役割を考えていきます。無形であり、在庫ができないといった観光商品の特性やマネジメント理論、またホスピタリティの重要性も学修します。さらに、アフターコロナの観光産業の役割、方向性を考えます。					観光産業、観光サービス、インバウンド、観光まちづくり、ホスピタリティ、アフターコロナ	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
B 専門的技術			社会貢献・自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 60 %	発表:	%	実技試験:	%
その他: 40 %						
特記事項: 学期末課題の成績(60%)、その他(授業参加度・コメント票等)(40%)により総合的に評価します。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修		ディスカッション、ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	実習、フィールドワーク	
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 期末課題を実施。毎回コメント票、適宜小テストを実施します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎回コメント票を行い、授業内でフィードバックをします。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①オリエンテーション: —授業計画及び成績評価方法の説明、履修上の注意、観光産業とは、観光サービスとは				【予習】富山の観光産業を調べる 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
②観光と観光産業: —観光・観光サービス・観光の効果・観光市場・観光産業				【予習】教科書第1章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
③観光産業の歴史: —日本の観光産業の歴史・外国の観光産業の歴史				【予習】教科書第2章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
④日本の観光市場: —国内旅行市場の特徴と課題・海外旅行市場の特徴と課題・インバウンド市場の特徴と課題				【予習】教科書第3・4・5章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑤観光産業: —観光産業の定義・役割・種類・特徴・観光商品・観光行政・観光と地域				【予習】教科書第7章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑥旅行業ビジネス: —旅行会社の必要性・種類・旅行商品・パッケージツアー・ツアーコンダクター・OTA				【予習】教科書第8章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑦宿泊業ビジネス: —宿泊業ビジネスの特徴と課題、旅館・ホテル・公共の宿・民泊・シェアリングエコノミー				【予習】教科書第9章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑧観光交通ビジネス: —観光交通ビジネスの特徴と課題、鉄道交通・道路交通・航空交通・海上交通				【予習】教科書第10章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑨観光施設ビジネス: —観光施設ビジネスの特徴と課題、テーマパーク・動物園・博物館・タワー・スキー場・道の駅				【予習】教科書第11章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑩インバウンドビジネス: —インバウンドビジネスの特徴と課題・ランドオペレーター・観光ビジネス・関連ビジネス				【予習】前期インバウンド概論復習 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑪観光まちづくり: —観光まちづくりの特徴と課題・サステナブル・観光資源・着地型旅行・まちマーケティング				【予習】教科書第12章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑫観光まちづくりとニューツーリズム①: —エコツーリズム・フードツーリズムによる観光まちづくりの事例研究				【予習】教科書第13章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑫観光まちづくりとニューツーリズム②: —コンテンツツーリズム(映画・TV・マンガ・アニメ)による観光まちづくりの事例研究				【予習】教科書第13章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑭観光サービスとホスピタリティ・リスクマネジメント: —観光ビジネスのホスピタリティ・オーバーツーリズム・リスク対応(疫病・災害・テロ)				【予習】教科書第14章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑮富山の観光産業・まとめ —富山の観光産業・観光まちづくりの現状と課題/期末課題発表				【予習】富山の観光産業調査 【復習】講義総復習	240分	
使用テキスト: 安田亘宏著『観光サービス論—観光を始めて学ぶ人の14章』古今書院、改訂版2021年 (ISBN 9784772231664)				その他参考文献など: 講義の中で適宜紹介します。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): テキストとパワーポイント、画像、映像を使って分かりやすく解説します。予習、復習をしっかりと継続することが求められます。						

国際観光学科

科目名： サービス・マネジメント論				担当教員 氏名： 米田 晶		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： マーケティング活動の結果、地域を						
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
種々のマーケティング活動の結果、集客に成功した事業において、次なる課題はマネジメントである。来訪者を満足させ、再訪につなげるにはどうすればいいだろうか。クレームになった場合にはどんなリカバリーが可能だろうか。自社のファン、地域のファンをつくるにはどうすればいいだろうか。旅行事業の特性、サービスを中核とする商品の特性をベースに学修を深める。					顧客満足度、サービス・エクセレンス、 クレーム対応、サービスの失敗、 サービス・リカバリー	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			1, 2, 3, 4, 7, 9			
A 知識・理解力			知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
B 専門的技術			社会調査に関する手法を学び、実践することができる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。			
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 30 %		レポート： 0 %		発表： 50 %		実技試験： 0 % その他： 20 %
特記事項：						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ケ이스カッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： レポートは適時、最終評価はプレゼンテーションで実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス：サービスの特性とマネジメントの必要性				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
②サービス創造のマネジメント				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
③サービス経験のマネジメント				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
④フィールドワーク：スターバックスでのサービス体験				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑤グループワーク：スターバックスのサービスマネジメントから考える				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑥サービス人材のマネジメント				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑦サービス品質のマネジメント				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑧おもてなしのマネジメント				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑨顧客ロイヤルティのマネジメント				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑩グループワーク：富山県のファンをつくるマネジメントを考える				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑪行列のマネジメント				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑫サービスの失敗と顧客苦情行動				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑬サービス・リカバリー				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑭グループワーク：サービスの失敗例とサービスリカバリー方法を考える				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑮まとめ				【事前】プレゼンテーション準備 【事後】復習	240分	
使用テキスト：なし				その他参考文献など：		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：						

国際観光学科

科目名: 地域開発事例研究(AT)			担当教員 氏名: 山田 拓		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次 後期	専門科目	講義	選択必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
森や山、川、湖、海を舞台としたアドベンチャー・ツーリズムの国内外の開発事例を学ぶ。特にコンテンツの作り方については、その地域の魅力を十分に引き出し、再訪率を高めたり、滞在日数を増やし、地域での消費拡大に貢献できる考え方や手法を学ぶ。また、ツアーの販売ノウハウ、告知宣伝の仕方、トリップアドバイザーなどの口コミ媒体の活用方法も学ぶ。開発商品と、旅行業法、旅行業約款など各法律との関係性や、参加者の安全確保なども各事例研究の中で学ぶ。					アドベンチャー・ツーリズム、ブランディング、着地型観光、エコツーリズム、持続可能な観光、デスティネーション・マーケティング、デスティネーション・マネジメント、事業ポートフォリオ、地域経営
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1, 2, 3, 4, 6, 9	
A 知識・理解力		知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
B 専門的技術		社会貢献・自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力		情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
D 問題解決力		問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト:	%	レポート: 50 %	発表: 20 %	実技試験:	%
		その他: 30 %			
特記事項: その他とは授業への取り組み姿勢(出欠、提出物の状況)のことです。					
アクティブラーニング要素:					
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート返却時のコメント等によってアドバイスをを行う。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス: アドベンチャー・ツーリズムと富山			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
②富山のフィールドを知る・フィールドワーク			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
③富山のフィールドを知る・フィールドワーク			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
④富山のフィールドを知る・フィールドワーク			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑤富山のフィールドを知る・フィールドワークの振り返り			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑥富山でのアドベンチャー・ツーリズムの可能性			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑦アドベンチャー・ツーリズムの地域的取り組み事例研究: 富山県の事例(ゲストスピーカー)			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑧アドベンチャー・ツーリズム推進の要諦			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑨世界のアドベンチャー・ツーリズム			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑩アドベンチャー・ツーリズムの地域的取り組み事例研究: 富山県の事例(ゲストスピーカー)			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑪アドベンチャー・ツーリズムと地域			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑫アドベンチャー・ツーリズムと持続可能な観光			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑬アドベンチャー・ツーリズム・ツアーづくり(演習)			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑭アドベンチャー・ツーリズム・ツアーづくり(グループワーク)			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑮アドベンチャー・ツーリズム・ツアーづくり(プレゼンテーション)			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
まとめ			【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
使用テキスト: なし			その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):					

国際観光学科									
科目名： 地域開発事例研究(FT)				担当教員 氏名： 米田 晶					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考			
2	1年次	後期	専門科目	講義	選択必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
地域の特徴ある食材や食文化を主な旅行動機、旅行目的、また目的地での主な活動とする食のツーリズムを活かした観光まちづくりが各地で取り組まれている。また日本のインバウンドが拡大する中で、「日本の食」が大いに注目されている。特に「食の王国」と呼ばれ、魅力的な食材や食の文化が豊富な富山にとって、食のツーリズムは地域創生の重要なポイントである。このツーリズムを体系的に学び、この分野の実態と可能性、そして射水市をはじめ、富山県下の食のツーリズムの可能性を他地域の開発事例研究を学びながら研究する。					フードツーリズム、ブランディング、伝統野菜、富山湾の海産物、6次産業化、着地型観光、エコツーリズム、持続可能な観光、デスティネーション・マネジメント、事業ポートフォリオ、通信販売				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1, 2, 3, 4, 6, 9				
A 知識・理解力			知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。						
B 専門的技術			社会貢献・自己実現に技術が活用できる。						
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。						
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	20 %	発表:	50 %	実技試験:	%	その他:	30 %
特記事項:その他とは授業への取り組み姿勢(出欠、提出物の状況)のことです。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 講義の中間・後半にまとめと振り返りを予定している。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート返却時のコメント等によってアドバイスを行う。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①ガイダンス:富山の食文化の歴史的変遷					10月6日(金)2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
②伝統食と食文化(ます寿司)					10月13日(金)2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
③富山湾鮭の開発					10月20日(金)2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
④北陸の発酵食と着地型観光					10月27日(金)2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
⑤発酵ツーリズムとインバウンド:味噌づくり体験を事例として					11月10日(金)2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
⑥生産者と顧客をつなぐ地域ブランディング:レストランLévoの事例を中心に					11月17日(金)2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
⑦フードツーリズムの取り組み事例と着地型観光					11月24日(金)2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
⑧6次産業化と農工商連携:地域振興に資する観光とは					12月1日(金)2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
⑨富山の食資源を使った着地型観光商品をつくろう!手順と課題説明					12月8日(金)2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
⑩フードツーリズム商品企画:フィールドワーク(1)					12月15日	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
⑪フードツーリズム商品企画:フィールドワーク(2)					12月15日	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
⑫着地型観光と地域振興					12月22日(金)2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
⑬フードツーリズム着地型観光商品づくり(グループワーク)					1月12日(金)2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
⑭フードツーリズム着地型観光商品(プレゼンテーション)					1月19日(金)2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習			240分
⑮まとめ					1月26日(金)2限	【事前】全配付資料等の確認 【事後】授業の復習			240分
使用テキスト:なし					その他参考文献など:				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 富山湾の海の幸をはじめとする富山の食の資源を利活用した着地型観光プランをつくるところまでを行います。 しっかり復習して、授業に臨んでください。									

受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Media and information literacy empowers future employees to critically evaluate information and make informed decisions in a rapidly changing digital world.

國際觀光學科

科目名： 観光学研究Ⅰ				担当教員 氏名： 齋藤望、鷹西 恒、米田 晶		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：						
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
教員と学生間および学生相互の積極的なコミュニケーションを基礎として、設定されたテーマ・対象・課題等に対する学修・研究を進めていきます。観光学の学修・研究を進め、最終的に卒業論文の作成に結びつく能力の獲得を目指す。 AD教員からの指示にもとづきテーマ・対象・課題に取り組み、その経過または成果を適切な方法で表現することができる。また、卒業論文の完成に向けた学修・研究を行うことができる。					主体性 コミュニケーション力 課題解決力	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1・3・8・10	
B 専門的技術			社会貢献、自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し表現できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理してその問題を解決できる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト：	%	レポート： 60 %	発表： 10 %	実技試験：	%	その他： 30 %
特記事項：						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：個別指導により、必要な(本人にとって)知識の習得、その題目にあった論文構成の方法、また、問題点があればその解決法の指導を行う						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①国際観光学部の学びにおける卒業研究の位置づけ				配付資料を読む	240分	
②研究課題の検討と決定				テーマの検討と資料収集	240分	
③個別研究指導(研究計画書の作成)				先行研究の確認と資料収集	240分	
④個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑤個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑥個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑦個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑧個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑨個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑩個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑪個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑫個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑬個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑭個別研究指導				中間報告会準備および学習内容の整理。プレゼンテーション	240分	
⑮中間報告会				中間報告会での質疑を受けて研究内容を整理する。	240分	
使用テキスト：なし。適時紹介する				その他参考文献など：『はじめてでも、ふたたびでも、これならできる! レポート・論文のまとめ方』 新田 誠吾 すばる舎 ISBN 978-4799108376		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：卒業論文の場合、字数や書式等に基準が設けられる。卒業制作の場合も含め、担当者からの指示に従うこと。そして、各ツールズでの学びを土台としていること、指導教員の指導に従っていることが求められる。						